

商品市況展望

平成 24 年 11 月 11 日記

来年から「復興特別所得税」が徴収される事となる。来年からは所得税に 2.1% を乗じた金額が、追加的に課税されるわけである。

甚大な被害をもたらした先の「東日本大震災のための復興財源」であり、被災地のためには仕方なかろう…というのが心優しい日本人であるが、昨今の報道で「何でこんなものに復興財源が使われるの?」という話が流れるたびに、若干納得の出来ない思いをするのは当方だけ?

震災後の募金活動が盛んだった頃は、怪しくなさそうな街頭募金には、タバコを買ったあとの釣り銭は必ず入れていた。だから一時は、当方にとってタバコの値段は 1 箱 = 1,000 円だった。そういう寄付はもったいないとは思わないのだが、何だかねえ〜という話だ。

個人所得税は 2.1% だが、「復興特別法人税」は 10% と更に高い。また相場をやっている我々には、金融商品から生じる利子・配当・売買益のすべてに復興特別所得税が別途 2.1% 課税される。商品先物での儲けにもそれが加算、株をやっていればそれにも加算である。

○債権の利子の場合…

現行では所得税 15%、住民税 5% → 所得税 + 復興特別所得税 15.315%、住民税 5% となる。

○株式、投資信託の配当・売買益の場合は…

所得税 7%、地方税 3% → 所得税 + 復興特別所得税 7.147%、住民税 3% となる。

平成 26 年 1 月からは所得税 + 復興特別所得税 15.315%、住民税 5% となり、上と同じになる。

○デリバティブ取引の場合は（商品先物もこれ）…

所得税 15%、住民税 5% → 所得税 15%、復興特別所得税 = 所得税額 × 2.1%、住民税 5% となる。

平成 25 年中は、株式市場はまだ減免措置があるから上記のようにになっているのだが、債権の利子の場合とデリバティブが微妙に違うが、仮に利益が 1000 万円として、税金が幾らになるか実際に計算してみよう。

現行では、所得税 150 万円 + 住民税 50 万円 = 200 万円の税金支払い。

○債権の利子の場合… 153 万 1,500 円 + 50 万円 = 203 万 1,500 円。（26 年からは株も同じ）

○デリバティブの場合は… 150 万円 + 3 万 1,500 円 + 50 万円 = 203 万 1,500 円。

何だ！同じじゃなか！という話だが、まあともかく来年から投資家はちょっと多く税金を取られるという話でした。

〔貴金属〕

○東京金月足

…削除済み…

今週の金の値動き

	12月限(当限)	前日比	10月限(先限)	前日比
11月5日	¥4,343	-69	¥4,352	-71
11月6日	¥4,346	3	¥4,355	3
11月7日	¥4,445	99	¥4,453	98
11月8日	¥4,420	-25	¥4,429	-24
11月9日	¥4,446	26	¥4,454	25

金相場は、先週号においては『最大で4,200円割れまでの下げが有り得るだろう。ただしそこは絶好の買い場と思われ、どこで下げ止まるかに注目である。ただし目先はWトップ完成からの下げが先であり、買い方にとっては厳しい展開が続くだろう』とコメントした。

今週の相場展開は、先週末の米雇用統計発表からドル高になった流れを受け、4,330円(11/6)まで下落。しかしオバマ再選の報で米国の金融緩和政策は継続されるとされ、4,483円(11/8)まで150円超の大きな切り返しを見せ、その後は再びもみ合いに入った。

週末の夜間取引では、一時4,410円の安値まで出したが、4,300円台への突入は避けられている。

さて現状の日足チャートは、…中略…

米大統領選は終わったが、米国の上院・下院は「ねじれ」になっているため、オバマ大統領の意向がスムーズに進むとも限らない。そこで問題になるのが「財政の崖(フィスカル・リスク)」であり、今年12月にはブッシュ減税の期限が切れて実質的増税になる。来年1月からは強制的な歳出削減で、これまた景気には悪影響を与えると見られている。

オバマ再選後に、株価は一時急落したわけだが、金の場合は…

○経済不安が台頭すれば、金は買われる。

○経済の悪化からリスクマネーの縮小→金も売られる。

という相反する2パターンがあるわけで、またこの財政の崖も楽観論と悲観論が交互にやって来るだろう事は間違いなく、この狭間で揺れ動く事になるだろう。

問題は米国だけでなく、…中略…

そうして考えると、非常に難しい展開だとしか言い様がないわけだが、こういう時はあえて大きな目で相場を見直さないと、今週はほとんどの商品のチャートを月足でアップしてみた。

1996年からの長いチャートだが、安い時はわずか800円台だった金が、昨年9月には4,700円台まで上がったわけで、2005年秋から上昇を開始した金相場は、道中のリーマンショックの急落を除いては、未だ上昇相場が続いていると見て取れる。

…中略…

いずれにせよ、世に相場がある限り、バブルのように上昇したり、バブルがはじけて元の木阿弥になったりすることは、今後も必ずあるはずだ。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京金一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年12月	¥4,037	12月26日	¥4,654	2月27日	¥3,808	12月30日	¥4,446
2013年2月	¥4,654	2月27日	¥4,654	2月27日	¥3,885	6月4日	¥4,449
2013年4月	¥4,307	4月25日	¥4,546	10月5日	¥3,886	6月4日	¥4,451
2013年6月	¥4,023	6月27日	¥4,548	10月5日	¥3,940	7月24日	¥4,451
2013年8月	¥4,224	8月29日	¥4,550	10月5日	¥4,166	9月3日	¥4,454
2013年10月	¥4,404	10月29日	¥4,483	11月8日	¥4,330	11月6日	¥4,454

週末11/9のNY市場は、前日比4.9ドル高の1730.9ドルでの終了。11/5には1672.5ドルまで下げていたものが、あっという間に切り返したわけであるが、直近の高値1798.1ドル(10/5)まではまだ遠い。

○NY金月足

…削除済み…

月足チャートでは**1999年の250ドル台が最安値**で、リーマンショック前は1000ドル乗せで一度天井を打ったのだが、それが**昨年の高値1923.7ドルまで上昇**。

今年の高値は前述の1798.1ドルで、1800ドル台乗せ失敗で**1500ドル～1800ドルのもみ合いに入っているのが今の相場だ**。どこかで大暴騰するようなら、今度は2000ドルを大きく超えてゆくのだろうし、また1500ドル割れの急落となるようなら、1200～1300ドル程度まではあっさり下がるのだろう。

そういうのをいち早く感知しないと相場には勝てないわけだが、感度を上げ過ぎると「木を見て森を見ず」になりかねないゆえ、その辺が相場の難しいところ。ただし、それこそが相場の魅力でもある。

なおCFTC発表の11/6現在のファンドのポジションは、…中略…

また11/9現在のETF残高は、…中略…

結論として当方の相場観は、**長期的には金融緩和継続見通しが買い相場を演出すると考えているものの、目先は「財政の崖」問題からの一段安が先に来て欲しいところ**。買いは底固めを終了してからと見る。

○東京プラチナ月足

…削除済み…

今週のプラチナの動き

	12月限(当限)	前日比	10月限(先限)	前日比
11月5日	¥4,024	-20	¥4,029	-17
11月6日	¥4,016	-8	¥4,018	-11
11月7日	¥4,042	26	¥4,048	30
11月8日	¥3,990	-52	¥3,995	-53
11月9日	¥4,002	12	¥4,005	10

プラチナ相場は、先週号においては『3,933円が底値かどうかにはまだ疑問があるものの、週末のNY市場の急落でも金よりは下げておらず、下げて産金コストの1500ドルは維持されそう。ドルベース1,500ドルで為替が80円ならば、国内換算は3,858円である。その辺が下値の限界かもしれない』とコメントした。

今週の相場展開は、4,000円を挟んでもみ合い。3,900円台に入ると買われる、4,000円台半ばまで戻れば売られるといった相場となっている。

日足チャートでは、直近の高値は4,395円(10/5)であり、安値は3,933円(10/30)で、まだ上値を追ってゆく雰囲気もないが、崩れも出ていない展開である。

今週は月足をアップしてみたわけだが、最期の1本は途中で、年末大納会までにもう1本入るわけだ。

チャートを見てすぐ気付くのは、…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京プラチナー代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年12月	¥3,605	12月26日	¥4,582	3月14日	¥3,471	7月24日	¥4,002
2013年2月	¥4,535	2月27日	¥4,589	3月14日	¥3,468	7月24日	¥3,990
2013年4月	¥4,090	4月25日	¥4,381	10月5日	¥3,466	7月24日	¥3,995
2013年6月	¥3,681	6月27日	¥4,386	10月5日	¥3,460	7月24日	¥3,999
2013年8月	¥3,860	8月29日	¥4,395	10月5日	¥3,807	8月31日	¥4,002
2013年10月	¥3,998	10月2日	¥4,093	11月2日	¥3,933	10月30日	¥4,005

○NYプラチナ月足

…削除済み…

NYプラチナも同じようなチャートだが、違うのは雲の上に出ており、現在の産金コストと言われている1500ドルが現在の雲の位置である事。

これを割れないのだとすれば、そんなに下はないという話になるわけだが、チャートを見て判るとおり、また商品の相場であるという特性上(農産物などは余ればタダでも買い手がなくなる)、必ずしもコスト=価格の下限ではないわけで、あまり過信するのは良くないだろう。

なお11月13日にJマッセイ社の需給予想が発表されるため、それには注目か。前回発表で

は5月～10月の価格予想は1450ドル～1750ドルであった。今回は欧州経済情勢が不透明なため需要を低下させるだろうが、一方で南アのストでの減産もあったため、どういう発表になるか。若干弱気なレポートになる可能性を指摘する専門家が多いが…。

○東京プラチナ－金価格差月足
…削除済み…

週末現在のサヤは、4,005円（プラチナ）－4,454円（金）＝－449円。

10/30の－442円→－323円（11/5）まで縮小したものの、その後は再び逆ザヤ拡大に向かい、週末には更新となった。

今週はこちらも月足でのアップとしたが、…中略…

結論として当方の相場観は、13日のJマッセイ需給報告で弱気の出れば、そこで売られてアク抜けしてくれる事を期待している。現時点では、南アの騒乱が拡大しない限りは、下向きかもしれない。

〔穀物〕

○東京コーン月足

…削除済み…

今週のコーンの値動き

	1月限(当限)	前日比	11月限(先限)	前日比
11月5日	¥27,100	-240	¥25,410	-160
11月6日	¥27,000	-100	¥25,430	20
11月7日	¥26,630	-370	¥25,410	-20
11月8日	¥26,850	220	¥25,430	20
11月9日	¥26,800	-50	¥25,350	-80

まずはコーンから…

先週号においては『まだしばらく横ばいの相場が続くだろう。材料待ちの相場である』とコメントした。

今週の相場展開は、10月以降の完全な横ばい相場が継続中。ただし先物は週末、**25,110円**と一代安値をわずかに更新した。

今週は月足のチャートをアップしたが、1年性の穀物相場ゆえ、生産高=供給と消費=需要の関係で去年の相場は去年の相場、今年の相場は今年の相場、来年の相場は来年の相場となるのがこの相場ゆえ、「今年の相場は3万円まで上がって終わりました…。さて来年は？」という時期に入っているものと思われる。

もっとも2006年→2008年までの高騰は、…中略…

さて週末は米農務省報告があったわけだが、その内容は…

- 生産高 107億2500万Bu (+1900万Bu) 事前予想平均の106億2900万Buを上回る。
- 期末在庫 6億4700万Bu (+2800万Bu) 事前予想平均の6億3500万Buを上回る
- 在庫率 5.8% (前回は5.6%、去年は7.9%)

内容としては、事前予想よりも多かったのだから弱材料と言えは弱材料だが、…中略…

一代の動きは以下のとおり。

東京コーン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年1月	¥21,790	12月16日	¥30,950	8月22日	¥20,520	6月4日	¥26,800
2013年3月	¥23,290	2月16日	¥30,340	8月22日	¥20,820	6月4日	¥27,090
2013年5月	¥23,250	4月16日	¥30,300	8月13日	¥21,040	6月4日	¥27,860
2013年7月	¥21,550	6月18日	¥30,300	8月13日	¥21,490	6月18日	¥27,900
2013年9月	¥28,500	8月16日	¥29,430	8月23日	¥25,510	10月1日	¥27,340
2013年11月	¥25,600	10月16日	¥25,800	10月19日	¥25,110	11月9日	¥25,350

サヤは天狗ザヤになってきており、相場格言では『天狗に買い無し』と言うが、さて？

○シカゴコーン月足

…削除済み…

週末 11/9 のシカゴ市場は、12 月限で 2.50 セント安の 738.75 セントでの終了。大豆は急落したが、コーンは大豆売り・コーン買いのスプレットが入って下げ渋りだ。

月足チャートで東京と大きく違うのは、昨年も今年も 2008 年のリーマンショック前の価格をオーバーしているということ。為替のチャートも合わせて見ると、参考になるだろう。

いずれにせよシカゴチャートでは、まだ天井を打ってからさほどは下がっていないというのが、過去の天井と大きく違う事が見て取れる。

なお CFTC 発表の 11/6 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、シカゴのチャートではまだ下げ余地を残しているような格好であるが、東京市場は完全に横ばいであり、もうすでに来年の相場を考える相場になっているものを見る。

○東京大豆月足

…削除済み…

今週の大豆の値動き

	12月限(当限)	前日比	10月限(先限)	前日比
11月5日	¥55,090	-110	¥49,020	-520
11月6日	¥54,830	-260	¥48,930	-90
11月7日	¥55,090	260	¥48,810	-120
11月8日	¥55,050	-40	¥48,690	-120
11月9日	¥54,590	-460	¥48,530	-160

続いて一般大豆です…

先週号においては『もみ合い継続となるだろう。このまま上がる相場ではないと見る』とコメントした。

今週の相場展開は、49,750円(11/5)から反落に転じた相場が続落となり、48,000円台半ばまで値を消した。

46,920円(10/16)→49,750円(11/5)まで2,830円幅上がってきた相場は、予想通りに反落。ほぼ上げ幅の半値押しとなって来たわけだ。

週末の米農務省報告では急落となっているため、週明けにはなお下がるだろう。底抜けするほど大きく下がるとも思えぬが、これも予想済みである。

今週は月足チャートをアップしたわけだが、…中略…

なお、週末急落した要因の米農務省報告の内容は…

- 生産高 29億7100万Bu(+1億1100万Bu) 事前予想平均の28億9100万Buを上回った。
- 期末在庫 1億4000万Bu(+1000万Bu) 事前予想平均の1億3300万Buを上回った。
- 在庫率 4.6%(前回は4.5%、去年は5.4%)

週末のシカゴは…中略…

そんな中でインフォーマ社はすでに来年の作付面積の予想を出し、8010万Acとした。これをもとに平年並みの収穫を計算すれば、生産高34億6000万Buとなる。

…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京一般大豆一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年12月	¥37,500	12月16日	¥63,950	7月23日	¥36,830	12月16日	¥54,590
2013年2月	¥41,900	2月16日	¥60,000	7月23日	¥41,050	2月16日	¥51,780
2013年4月	¥45,350	4月16日	¥56,480	7月23日	¥41,750	6月4日	¥50,700
2013年6月	¥44,700	6月18日	¥52,190	7月20日	¥44,400	6月18日	¥49,440
2013年8月	¥48,020	8月16日	¥51,810	9月5日	¥47,620	8月17日	¥48,650
2013年10月	¥47,220	10月16日	¥49,750	11月5日	¥46,920	10月16日	¥48,530

○シカゴ大豆月足

…削除済み…

週末 11/9 のシカゴ市場は、1 月限で 44.50 セント安の 1451.25 セント。シカゴも逆ザヤであるが、逆ザヤ縮小の方向に向かいながら大きく値を消している。この下げは、国内換算では 1200 円安である。

しかし月足チャートでは、今年の上昇は 2008 年の高値を大きく超えているわけであり、天井を打って下がってきたとはいえ、過去に比べるとまだまだ高い水準である。

場合によっては、来年の天候相場で更なる高値を目指す可能性もあるわけだが（またホット&ドライが来たりすれば）、天候相場が始まるまではもう一段安をした方が自然には見えるが、さて？

なお CFTC 発表の 11/6 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、天候相場開始前までは、良くてもみ合い。悪ければ一段安に向かうのではないかと想定している。天候相場の始まりは、皆が買いで参入したいはずでもあり、それなら今のうちに下げておくのは売り方・買い方双方とも利害が一致するのではあるまいか。

[ゴム]

○東京ゴム月足
…削除済み…

今週のゴムの値動き

	11月限(当限)	前日比	4月限(先限)	前日比
11月5日	238.5	-6.5	247.2	-8.2
11月6日	237.0	-1.5	246.6	-0.6
11月7日	239.3	2.3	249.0	2.4
11月8日	232.8	-6.5	243.0	-6.0
11月9日	235.9	3.1	246.4	3.4

先週号においては『戻り売り継続の相場であろう。大きく上昇する材料は、皆無だと考えているゆえに』とコメントした。

今週の相場展開は、戻れば売られる展開が続き **242.0 円 (11/9) まで下落**。これで直近の高値 **275.5 円 (10/5) からは 33.5 円の下落**である。

今回は月足をアップしてみたわけだが、これで見れば現在の 30 円程度の下落も可愛いものと言えるくらいだ。

安い時には 100 円以下まで売られるのがゴム相場であり、2008 年リーマンショックの大暴落を経て、**高値は昨年 2 月の 535 円台**があったわけで、大きな流れではそこからの**戻り売り相場**が足掛け 2 年間続いている相場である。

もっともゴム相場の限月は半年先までしかないので、…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京ゴム一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012 年 11 月	267.8	5 月 28 日	274.0	5 月 30 日	203.6	8 月 15 日	235.9
2012 年 12 月	233.3	6 月 26 日	271.5	10 月 5 日	204.5	8 月 15 日	237.1
2013 年 1 月	230.2	7 月 26 日	272.7	10 月 5 日	205.6	8 月 14 日	238.0
2013 年 2 月	230.0	8 月 26 日	274.2	10 月 5 日	216.4	8 月 31 日	242.0
2013 年 3 月	253.5	9 月 25 日	275.5	10 月 5 日	240.4	11 月 9 日	244.5
2013 年 4 月	262.1	10 月 26 日	263.9	10 月 26 日	242.0	11 月 9 日	246.4

先物 2 本が一代安値の更新である。

当先のサヤは、11 月限 235.9 円～4 月限 246.4 円と **10.5 円の順ザヤ**。サヤに変化は見られない。

週末現在の輸入採算価格は、…中略…

国内営業倉庫在庫は、10/20 現在で 538 トン増の 6,244 トン。16 旬ぶりの増加である。

上海ゴム在庫は、…中略…

上海ゴム価格は、24,000 元を挟んだもみ合い。

ゴム独自の材料は特に出していないが、産地はこれから増産期に入る。戻り売りから脱却するには、生産国の対策うんぬんよりも、まずは経済が好調になって自動車販売が増加しないと消費が上向かない。果たして今、そんな情勢が訪れるのか？というのが当方の基本的な見方だ。

結論として当方の相場観は、戻り売りからの脱却は非常に困難だろう。流れはまだ下向きであり、戻り売り方針に変化はないだろう。

〔原油・石油製品〕

○NY 原油月足

…削除済み…

今週の原油の値動き

	11月限(当限)	前日比	4月限(先限)	前日比
11月5日	¥52,890	-910	¥50,920	-940
11月6日	¥53,420	530	¥51,650	730
11月7日	¥54,680	1260	¥53,000	1350
11月8日	¥53,330	-1350	¥51,570	-1430
11月9日	¥52,950	-380	¥51,120	-450

まずは原油から…

先週号においては『週末の夜間取引では10/25の安値更新となっており、チャートの格好は悪くなってきている。来週は米大統領選など重要なイベントを抱えているため、相場の方向性を判断するのは難しいものの、ファンドの買いポジションも減少している中では、あまり強い相場とも思えない状況である』とコメントした。

今週の相場展開は、NY原油は大統領選を受けて一時88ドル台に回復したものの、その後はオバマ再選で材料織り込み済みとなって急落。84.05ドル(11/7)とこのところの安値を更新したが、週末は86ドル台での引けと相変わらず下値もみ合いの継続中。

なお週末のロンドンブレントは109ドル台、ドバイ原油は107ドル台であり、NY原油と同様に乱高下してはいるが、比較すれば高止まりしている状況だ。

また11/6現在のファンドのポジションは、…中略…

さて今回は月足をアップしたわけだが、現在の80ドル台での推移は高値持ち合いといったところ。リーマンショック前には147ドルまで急騰し、その後33ドルまで大暴落を演じたわけだが、そこから110ドル台まで上がった後に、高値持ち合いしているのが今である。

大きな目で見て、…中略…

となるとチャートで現在もみ合っている75ドル～110ドル程度は、居心地のよい水準なのかもしれない。幅は35ドル程度であるが、リーマンショックの前後に100ドルも動いたのが異常なのであって、かつての原由の変動幅に照らし合わせれば、その程度の値幅でも十分に動いているのだと考えるのが妥当ではあるまいか。

○東京原油日足

…削除済み…

東京原油はいつもどおりに日足でアップするが、今週は大統領選を挟んで50,420円(11/6)→53,550円(11/8)と3,000円超の上昇～その後の急落で、大きな乱高下となった。

方向感が非常に見極めづらい相場であるが、基本的には突っ込み買い、吹き値売りの逆張りなのだろう。

特に今後材料とされそうなのが、**財政の崖**問題であり、…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京原油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年11月	¥47,650	5月1日	¥56,110	9月18日	¥44,190	6月26日	¥52,950
2012年12月	¥47,580	7月2日	¥56,080	9月18日	¥46,240	7月3日	¥52,030
2013年1月	¥48,890	8月1日	¥55,790	9月18日	¥48,420	8月1日	¥51,750
2013年2月	¥53,910	9月3日	¥55,540	9月18日	¥50,290	9月21日	¥51,500
2013年3月	¥52,040	10月1日	¥54,420	10月17日	¥50,560	10月4日	¥51,310
2013年4月	¥51,740	11月1日	¥53,550	11月8日	¥50,420	11月6日	¥51,120

結論として当方の相場観は、方向感の掴みづらい乱高下が続くのではあるまいか。今は逆張り対処での戦略が、ベターなのではないかと考える。

○東京ガソリン日足

…削除済み…

今週のガソリンの値動き

	12月限(当限)	前日比	5月限(先限)	前日比
11月5日	¥61,740	-1310	¥63,220	-1300
11月6日	¥61,940	200	¥63,690	470
11月7日	¥62,800	860	¥65,220	1530
11月8日	¥61,490	-1310	¥63,970	-1250
11月9日	¥60,930	-560	¥63,480	-490

続いてガソリンです…

先週号においては『週末の夜間取引の下落で一気にまたチャートは悪化した。今は上値期待よりも、9月の安値 61,000 円に向けての下落の可能性の方が大きいだろう』とコメントした。

今週の相場展開は、大統領選を挟んで乱高下となり、安値 62,490 円 (10/6) ~高値 65,740 円 (10/7) と 3,000 円超の動きとなった。なお、週末の夜間取引でも 2,000 円近い上下波乱を演じている。

67,330 円 (10/15) →62,490 円 (11/6) までの下げ幅は 4,840 円だったが、3,000 円切り返した後にまた急落したりと、非常に値幅が大きくなっている。

下値支持線は 61,020 円 (9/21) であり、今のところそれは割れていない。ただし早晚高値更新に至らないと、チャートは三尊天井形成の様相を呈して来ている。

なお一代の推移は、以下のとおり。

東京ガソリン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年12月	¥61,470	5月28日	¥66,660	9月18日	¥53,530	6月26日	¥60,930
2013年1月	¥54,070	6月26日	¥66,530	9月18日	¥53,460	6月26日	¥60,910
2013年2月	¥58,670	7月26日	¥66,350	9月18日	¥58,160	7月27日	¥61,250
2013年3月	¥64,510	8月27日	¥67,170	9月18日	¥61,020	9月21日	¥61,920
2013年4月	¥63,400	9月26日	¥67,330	10月15日	¥62,560	11月6日	¥63,490
2013年5月	¥65,180	10月26日	¥65,740	11月7日	¥62,490	11月6日	¥63,480

11/9 現在の業者間転売価格は、…中略…

11/3 現在のガソリン在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、もみ合い～逆張りの相場展開が続きそうだ。しかし、もしも抜けるとすれば三尊天井形成からの底抜けの可能性の方が、今は高いのではあるまいか。

○東京灯油日足

…削除済み…

今週の灯油の値動き

	12月限(当限)	前日比	5月限(先限)	前日比
11月5日	¥67,100	-1270	¥63,050	-1370
11月6日	¥67,800	700	¥63,550	500
11月7日	¥68,930	1130	¥64,930	1380
11月8日	¥67,650	-1280	¥63,750	-1180
11月9日	¥67,230	-420	¥63,350	-400

最後に灯油です…先週号においては『切り返して上げて行くのは非常に困難な状況だろう。戻り売りで、安値更新を目指している展開だと思われる』とコメントした。

今週の相場展開は、大統領選を挟んでの乱高下。安値は62,530円(11/6)と底抜けのチャートだったが、そこから65,480円(11/8)まで3,000円近い戻りを入れ、その後はまた下落するなど乱高下の展開となった。

先週号で『63,510円、63,320円辺りを割ると、相場はまた下放れる事になる』としたが、62,000円台に突っ込んだ相場は下放れ。しかしそこから急激に切り返し、また下落するなど、米大統領選～財政の崖問題など材料があったとは言え、激しい動きとなった。

次の展開を予測するならば、62,530円を下抜けるか、65,460円を上抜けるかで、相場がどちらかに放れて動く事になるだろうと見る。所詮は戻り売りと言うのが当方の根本的な見方ではあるものの、あまり予断を入れずに判断したい。

なお一代の推移は、以下のとおり。

東京灯油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年12月	¥64,110	5月28日	¥70,550	9月18日	¥56,800	6月26日	¥67,230
2013年1月	¥57,800	6月26日	¥70,400	9月18日	¥57,080	6月29日	¥68,840
2013年2月	¥61,810	7月26日	¥70,230	9月18日	¥61,350	7月26日	¥66,160
2013年3月	¥67,500	8月27日	¥69,750	9月18日	¥64,080	11月6日	¥64,810
2013年4月	¥64,320	9月26日	¥67,710	10月17日	¥62,960	11月6日	¥63,720
2013年5月	¥64,410	10月26日	¥65,460	11月8日	¥62,530	11月6日	¥63,350

11/9 現在の業者間転売価格は、…中略…

11/3 現在の灯油在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、基本的には戻り売り相場に変化はないと見ているものの、安値から切り返したため、チャートの変化が起きた場合には中立に戻るのが良いだろう。今はまだ、そうになっていないが…。

[為替]

○ドル/円相場月足

…削除済み…

今週は為替のチャートも月足をアップ。

直近の動きは、80.67 円（11/2）まで 6 月の円安も抜けるところまで円は売られたわけだが、オバマ再選～財政の崖問題で再び 79 円台前半までの円高となり、抜けたら終いの相場となっているのが今の相場である。

長い目で見れば、…中略…

なお来週の主な予定は、

12 日（月）米国ベテランズデー休場（株式・商品市場は通常通り）

13 日（火）EU 財務省理事会、ギリシャ短期国債入札？

14 日（水）米 FOMC 議事録

15 日（木）ユーロ圏 GDP 速報

16 日（金）ギリシャ 50 億ユーロの国債償還

などである。

○ユーロ/円相場月足

…削除済み…

104 円台まで円安/ユーロ高となっていた相場は、あっという間にまた 100 円台まで円高/ユーロ安が進行。来週も欧州の GDP 速報やギリシャの国債償還など、場合によってはユーロが売られるスケジュールが目白押し。

…中略…

○ユーロ/ドル相場月足

…削除済み…

月足チャートでのドルとユーロの関係は、一体どっちを向いているのだろうか？というようなチャートである。

…中略…

このレポートは、私が個人的な判断で書いたものです。

内容の責任はすべて私に帰するものですが、取引に対する利益を保証するものではありません。

（当たり前ですが念のため）

ひげの中ちゃん相場情報

中田幸一郎

メールアドレス info@higenaka.com